単 元 名	Unit 4　　Homestay in the United States	配当時間	5～9時間
単元の目標	(1) 外国人に日本での生活で注意すべきことを伝えようとする。 (2) ｏhave to(has to)，助動詞willを用いて身近なことを表現できる。 ｏ日本でのホームステイで注意することを英文で書くことができる。 (3) ｏホームステイについて書かれているアドバイスを読んで，理解できる。 ｏホームステイの健のスピーチを聞き，要点をつかむことができる。 (4) ｏhave to(has to)，助動詞willの用法が理解できる。 ｏホームステイでの実態や生活の違いについて理解することができる。		

☆本単元では、中心的言語材料であるhave to（has to），助動詞willを確実に身に付け，運用できるようにさせたい。また，本文の内容理解を通して，各国のホームステイの実態の違いを理解させたい。

①★S0(1) have to ， do not have toを用いた文型を知り，練習する。 ボブが「しなければならない」ことを言ってみよう。 評have to(has to)を使って身近なことを表現できる。（発表，観察） ② S0(2) have to ， do not have toを用いた文型を再確認し，それを用いたコミュニケーション活動に取り組む。 ③★D(1) willを用いた疑問文とその応答について知り，それを用いて簡単な会話をする。 評willを使って身近なことを表現できる。（発表，観察） ④ D(2) ペアでの対話文暗唱と助動詞を用いたコミュニケーション活動に取り組む。 ⑤★RC P.40(1) ユカの相談と先生の助言の内容を読み取る。 ⑥ RC P.40(2) 助動詞mustを使った文を用いたコミュニケーション活動に取り組む。 ⑦★RC P.41 カルロの苦情とそれに対する先生の助言の内容を読み取る。また，YTAを基に，助言・忠告を考える。 ⑧★LP4 健のスピーチの聞き取りとコミュニケーション活動に取り組む。また，ホストファミリーに書いたお礼の手紙を読む。 ⑨ **単元のまとめ** 学習事項をまとめ，単元テストに取り組む。	①・対話による口頭導入 ・生徒との対話形式の口頭練習 ②・対話による口頭導入 ・have to ， do not have toを用いた文型の問答 ③・willを用いた問答 ④・対話暗唱アドバイス ⑤・本文の範読 ・本文に関する英問英答 ⑥・mustを用いた問答 ⑦・本文の範読 ・本文に関する英問英答 ・コミュニケーション活動への参加 ・ホームスティの助言・忠告 ⑧・スピーチに対する質問 ・お礼の手紙のアドバイス ⑨・リスニング問題の提示 ・ホームステイ体験談

ｏ①では，「ホームステイのガイドブック」を通して，ホームステイについて気をつけなければならないことも考えさせたい。
ｏ④のコミュニケーション活動においては，生徒自身の身近なことに関して対話させるようにし，実際の使用場面を認識させたい。
ｏ⑤では，相談に対する助言を読み取るとともにホームスティでの諸注意を知らせる。
ｏ⑦では，苦情について読み取るとともに，国によって違う生活習慣について学ばせる。
ｏ⑧では，□教P.42のYTBと合わせて1時間扱いとする。

ホームステイ　http://dir.yahoo.co.jp/Education/Programs/Study_Abroad/
地球の歩き方　http://www.arukikata.co.jp/
海外旅行情報　http://homepage1.nifty.com/c-class/
海外旅行情報　http://www03.u-page.so-net.ne.jp/momo/tat-nov/